Nexus 7000 6.0KW AC 電源モジュール障害のトラブルシューティング

内容

概要

前提条件

要件

使用するコンポーネント

背景説明

障害コードの取得

16進数から2進数へのレジスタ値の変換

障害の原因と推奨される修正措置

Reg0

Reg1

Reg2

Reg3

成果の例

関連情報

概要

このドキュメントでは、Cisco Nexus 7000 6.0KW AC電源モジュール(PSU)障害アラートの考えられる原因と推奨される修正措置について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する基本的な知識が推奨されます。

- Cisco Nexus 7000シリーズスイッチ(N7K)
- Cisco Nexusオペレーティングシステム(NX-OS)CLI

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

• N7K用NX-OSのすべてのバージョン

- Cisco Nexus 7010シリーズシャーシ
- Nexus 7000 6.0KW AC電源モジュール(製品ID(PID)番号N7K-AC-6.0KW)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

N7K電源モジュールは、いくつかの異なる理由で障害としてリストされ、それぞれがシャーシに供給される電源にさまざまな影響を与えます。

電源モジュールの障害は、次のような多数の場所で障害として報告できます。

- 電源モジュールで、障害ライトが赤色に点滅します。
- **show environment power** CLIコマンドの出力**は、電源が**Fail/Shutステータスであることを示し**ていま**す。

• syslogに次のメッセージが表示されます。

2013 Dec 1 22:29:20.814 Nexus7000 PLATFORM-2-PS_FAIL Power supply 2 failed or shut down (Serial number AZS1000000W)

注:このドキュメントで説明する情報に進む前に、電源モジュールが*障害として*表示されていることを確認してください。

障害コードの取得

<snip>

N7K電源モジュールに障害が発生すると、障害の理由が電源装置(PSU)のオンボード8ビットレジスタに保存されます。 これらのレジスタを表示するには、show environment power detailコマンドをCLIに入力し、出力のHardware alam_bits行を探します。

Nexus7000# show environment power detail
<snip>
Power Usage Summary:

```
Power Supply redundancy mode (configured) PS-Redundant
Power Supply redundancy mode (operational) PS-Redundant
Total Power Capacity (based on configured mode) 12000 W
Total Power of all Inputs (cumulative) 18000 W
Total Power Output (actual draw) 3060 W
Total Power Allocated (budget) 5593 W
Total Power Available for additional modules 6407 W
Power Usage details:
_____
Power reserved for Supervisor(s): 420 W
Power reserved for Fabric Module(s): 500 W
Power reserved for Fan Module(s): 1273 W
Total power reserved for Sups, Fabrics, Fans: 2193 W
Are all inlet chords connected: Yes
Power supply details:
_____
PS_1 total capacity: 6000 W Voltage:50V
chord 1 capacity: 3000 W
chord 1 connected to 220v AC
chord 2 capacity: 3000 W
chord 2 connected to 220v AC
Software-Alarm: No
Hardware alam_bits reg0:1A, reg1: 0, reg2: 0, reg3:10
Reg0 bit1: restarted successfully
Reg0 bit3: loss of line1
Reg0 bit4: loss of line2
Reg3 bit4: reserved
PS_2 total capacity:
                    6000 W Voltage:50V
chord 1 capacity: 3000 W
chord 1 connected to 220v AC
chord 2 capacity: 3000 W
chord 2 connected to 220v AC
Software-Alarm: No
Hardware alam_bits reg0: 2, reg1: 0, reg2:80, reg3: 10
Reg0 bit1: restarted successfully
PS_3 total capacity: 6000 W Voltage:50V
chord 1 capacity: 3000 W
chord 1 connected to 220v AC
chord 2 capacity: 3000 W
chord 2 connected to 220v AC
Software-Alarm: No
Hardware alam_bits reg0:1A, reg1: 0, reg2: 0, reg3:10
Reg0 bit1: restarted successfully
Reg0 bit3: loss of line1
Reg0 bit4: loss of line2
Reg3 bit4: reserved
この例では、電源2(PS_2)に次の機能が備わっていることがわかります。
```

- •レジスター0 (**reg0)**を2に設定**す**る
- •レジスタ2(reg2)を80に設定する
- •レジスタ3(reg3)を10に設定する

16進数から2進数へのレジスタ値の変換

8ビットレジスタに設定されているビットを判別するには、16進数(HEX)値を8ビットのバイナリ値に変換する必要があります。以下が一例です。

登録 HEX値 2 進数値 ビットセット(0ベース)

reg0 0 0000 0010 1 reg2 80 1000 0000 7 reg3 10 0001 0000 4

障害の原因と推奨される修正措置

このセクションで提供されているテーブルに基づいて、レジスタ番号とビットセットを照合して 、障害の原因と推奨される修正措置を見つけます。

Reg0

ビット	デフォル ト値	ビット名	コメント	推奨処置
7	0	PECエラ ー	SMBusの書き込みサイクルでPECエラーが検出された場合は1にラッチします(スーパーバイザによって読み取りサイクルPECがチェックされます)。	リセットして再発生をモニタします。 SMBus上の他のデバイスのPECエラー スタンスを探します。
6	0	無効なア クセス	読み取り専用または未使用のレジスタまたはロケーションが書き込まれたり、未使用のロケーションが読み取られたりすると、ラッチは1になります。	リセットして再発生をモニタします。 SMBus上の他のデバイスのエラーイン スを探します。
5	0	データが 範囲外で す	制御レジスタを無効な値に変更しよう とすると、1にラッチします。	リセットして再発生をモニタします。 SMBus上の他のデバイスのエラーイン スを探します。
4	0	AC損失2	AC回線2は<スペックが許可されていま す。ラッチ	AC入力を確認します。
3	0	AC損失1	AC回線1は<スペックが許可されています。ラッチ	AC入力を確認します。
0	0	シャット ダウンし ました	電源のシャットダウンが発生した場合 は1にラッチします。	PSUスイッチを確認します。
1	0	正常に開 始されま した	電源モジュールは、シャラとは、シャーでは、シャーでは、シャーでは、シャーでは、シャーでは、カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	情報のみ。必要な操作はありません。

があるため、有用です。

PSUは内部で接地されており、PSUスイがオフの場合に想定されます。PSUスイがオンの場合は、スイッチを切り替えまPSUを交換します。

Reg1

ビットデス	フォルト値	直ビット名	コメント
7	0	内部障害	内部診断に失敗しました。
6	0	電源再投入発生	次の条件で制御シャットダウンが発生した場合、1にラ 1)電源サイクルビットレジスタ40ビット5が設定されて
5	0	50 V 2過電流シャットダウ ン	50V出力2が定格電流を超えたため、電源がシャットダワ
4	0	50V 1過電流シャットダウ ン	50V出力1が定格電流を超えたため、電源がシャットダワ
3	0	3.4V過電流シャットダウン	[・] 3.4V出力が定格電流を超えたため、電源がシャットダウ
0	0	50V 2過電圧遮断	50V出力2が定格電圧を超えたため、電源がシャットダ「
1	0	50V 1過電圧遮断	50V出力1が定格電圧を超えたため、電源がシャットダ「
0	0	3.4V過電圧遮断	3.4V出力が定格電圧を超えたため、電源がシャットダウ

Reg2

ビット	デフォル ト値	ビット名	コメント	推奨処置
7	0	ファン障害	ラッチ1:ファンの速度が通常の動作速度の70%を下回った場合。ファンの障害状態のため、電源モジュールはシャットダウンしません。	ファンの障害な チェックしま PSUを交換しま
6	0	温度センサーの障 害	温度センサーの1つが故障しています。	。 PSUを交換し 。
5	0		ブースト2過熱状態のため、電源がシャットダウンしました。	環境を確認しま 。
4	0	Boost 1 over temp.shutdown	ブースト1過熱状態のため、電源がシャットダウンしました。	環境を確認し。 。
3	0	50 V 2 over temp.shutdown	50V出力2過熱状態のため、電源がシャットダウンしました。	環境を確認し 。
0	0	50 V 1 over temp.shutdown	50V出力1過熱状態のため、電源がシャットダウンしました。	環境を確認し 。
1	0	3.4 V以上の温度 shutdown	3.4Vの出力過熱状態のため、電源がシャットダウンしました。	環境を確認し : 。
0	0	過温度警告	サーマルシャットダウンイベントの5秒前に発行されました。	環境を確認し : 。

Reg3

ビ デフォルト ビット名

コメント

推奨処置

ット	値				
7	(0	強制的にシャッ トダウン	電源ノブのキーを使用して電源をシャットダウンすると、このビットはロジック1になります。それ以外の場合は、ロジック0になります。	情報のみ。必要 作はありません
6	(0	未使用		
5		0	未使用		
4	(0	入力モードの変 更	AC1またはAC2の入力モードが変化すると、このビットは1に設定されます。	情報のみ。必要作はありません。 作はありません
3	(0	現在の共有障害	2つのモジュールが現在の共有に失敗すると、このビットは1に設定されます。	PSUをリセット す。PSUを交換 す。
0	(0	50Vモジュール 2(電圧下)	モジュール2の50V出力が定格電圧を下回りました。 AC2がオンの場合にのみアラームを発生させます。	PSUを交換しる
1	(0	50Vモジュール 1の電圧下	モジュール1の50V出力が定格電圧を下回りました。 AC1がオンの場合にのみアラームを発生させます。	PSUを交換しる
0	(0	3.4V(低電圧時)	3.4Vの出力は、定格電圧以下に低下した。	PSUを交換しる

成果の例

このドキュメント全体で使用されている例で説明されている情報から、レジスタ2、ビット7の設定で電源ファンに障害が発生していることがわかります。ファンに障害物がないかチェックしましたが(表で推奨)、何も見つかりませんでした。その後、PSUはReturn Material Authorization(RMA)で交換されました。

関連情報

- Cisco Nexus 7000シリーズAC電源モジュールのデータシート
- テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems